

## 草の根・人間の安全保障無償資金協力

### 「マンガチ県安全な水供給計画」

#### 署名式

2014年9月23日



左から: アブドゥル・ガファー・ジャクラ被供与団体代表、西岡周一郎大使、アラン・チエンベケザ農業・灌漑・水開発省大臣

2014年9月23日、西岡周一郎大使とアブドゥル・ガファー・ジャクラ被供与団体代表は、「マンガチ県安全な水供給計画」に関する贈与契約を締結しました。この贈与契約は、草の根・人間の安全保障無償資金協力を通じて110,084米ドルを供与するものです。

マンガチ県は970,899人を抱える中で、井戸は2,638基だけしかありません。多くの県民、特に女性と子供は、3~5キロ先にある近くの井戸まで歩き、水を汲むための長い列に並んで水を汲んでいます。こうした状況は、女性や子供たちの生活に悪影響を及ぼしています。女性は十分な畑仕事や収入創出活動に参加できず、子供たちは学校へ遅刻または欠席するため、学校の欠席率及び退学率増加につながっています。

本支援によりマンガチ県の18村に20基の井戸が建設されます。これにより、約12,000人の人々が安全な飲料水にアクセスできるようになると期待されています。